

渡辺復興大臣の動き

1月6日 宮城県庁表敬訪問



宮城県庁にて

渡辺博道復興大臣は宮城県庁に村井嘉浩宮城県知事を訪問し、復興大臣就任の挨拶を行いました。

県知事から要望書の手交を受けた後、意見交換が行われました。渡辺大臣は、被災者の心のケアや産業・生業の再生、移転元地の利活用等「残された課題」を挙げつつ「前回在任時に築いた信頼関係を生かしながら復興にまい進する」と復興・創生に向けた決意を述べました。

1月19日 宮城県（気仙沼市・南三陸町・石巻市・女川町） 訪問・視察

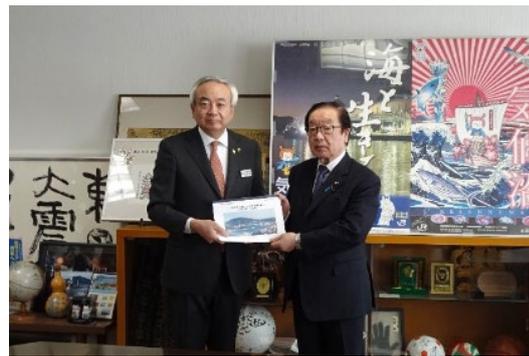
渡辺博道復興大臣は宮城県沿岸で津波被害を受けた5市町を訪問し、復興大臣就任の挨拶を行うとともに、復興の状況や課題について意見交換を行いました。

気仙沼市では、早朝から菅原茂市長らの案内で高度衛生管理型の気仙沼市魚市場を視察した後、水産業界と意見交換を行いました。その後、気仙沼市役所を訪問し、菅原市長から要望書の手交を受け、意見交換を行いました。南三陸町では、昨年オープンしたばかりの震災伝承施設「南三陸311メモリアル」を佐藤仁町長の案内で視察した後、隣接する「さんさん商店街」において、南三陸町における復興の最前線の様子を視察しました。石巻市では、石巻南浜津波復興祈念公園を訪れ犠牲となられた方々に献花・黙とうを捧げた後、石巻市役所を訪問し齋藤正美市長と意見交換を行いました。その後、宮城復興局において職員訓示を行い「大事なのは心の復興や生業の再生。現場に向き、被災者の意見をしっかり受け止めて（施策に）反映させてほしい」と述べました。

石巻市街地の産業・生業の再生の状況を視察した後、女川町役場を訪問し須田善明町長と女川町の復興の状況に関する意見交換を行いました。東松島市役所では、瀧美巖市長と復興の状況に関する意見交換を行った後、会見において「移転元地の利活用や産業・生業の再生等残された課題があり、創造的復興を成し遂げるように全力で被災者への生活支援の取り組んでまいります」と決意を述べました。



気仙沼市 魚市場にて



気仙沼市 市役所にて



南三陸町 南三陸311メモリアルにて



石巻市 石巻南浜津波復興祈念公園にて



石巻市 市役所にて



石巻市 宮城復興局にて



女川町 役場にて



東松島市 市役所にて

秋葉前復興大臣の動き

10月14日 宮城県（丸森町・山元町・
亶理町・岩沼市）訪問・視察



丸森町 役場にて



山元町 東日本大震災慰霊碑にて



岩沼市 千年希望の丘相野釜公園慰霊碑にて



亶理町 鳥の海公園避難丘にて

令和4年10月14日秋葉賢也前復興大臣は宮城県内の4市町村を訪問しました。丸森町では保科郷雄町長を表敬訪問。山元町では山元町東日本大震災慰霊碑「大地の塔」において献花・黙とうを捧げ、橋元伸一町長から復興状況についての説明を受けました。亶理町では鳥の海公園「鎮魂の碑」にて献花・黙とうを捧げ、山田周伸町長から復興状況についての説明を受けました。岩沼市では千年希望の丘「相野釜公園慰霊碑」にて献花・黙とうを捧げ、佐藤淳一市長から復興状況についての説明を受けました。

終了後の会見において、秋葉前復興大臣は「（東日本大震災から）11年7カ月が経過しハード事業はおおむね一段落したと認識していたが、今回の訪問・視察において、移転元地の利活用等、震災から10年以上経って明らかとなった課題「残された課題」が多いと再認識した。復興庁として、必要な支援に取り組んでいきたい」と述べました。

10月30日 仙台市 視察



仙台市 テロワージュマルシェ2022Harvest～収穫祭～にて



仙台市 アクアイグニス仙台にて

令和4年10月30日秋葉前復興大臣は、仙台市内を視察しました。

仙台市泉区の泉パークタウン内の特設会場では、復興庁と企業が主催する「テロワージュ東北マルシェ2022Harvest～収穫祭～」において、産業・生業の再生に向けて取り組む出店事業者の方々を視察しました。

その後、「残された課題」の一つである移転元地の利活用に関して、仙台市藤塚地区の温泉・商業複合施設「アクアイグニス仙台」と、仙台市蒲生地区に建設中の「杜の都バイオマス発電所」を訪問し、移転元地の利活用や産業・生業の再生、にぎわいの再生に向けた事業者の取組について視察を行いました。

仙台市蒲生地区では「なかの伝承の丘」を訪れ、犠牲者に献花・黙とうを捧げるとともに、保存会の方々から伝承活動への取組について説明を受けました。



仙台市 杜の都バイオマス発電所建設現場にて



仙台市 なかの伝承の丘にて

10月31日宮城県(石巻市・多賀城市・七ヶ浜町・塩竈市)

訪問・視察



宮城県市長会からの要望書手交



多賀城市 東日本大震災モニュメントにて



七ヶ浜町 笹山地区にて



塩竈市 東日本大震災モニュメントにて

令和4年10月31日、秋葉賢也前復興大臣は、石巻市で県市長会の要望を聞いた後、沿岸3市町を訪問しました。

石巻市の宮城復興局では、宮城県市長会(会長・伊藤康志大崎市長)から震災復興に係る要望書の手交を受けました。秋葉前復興大臣はこれを受け「沿岸被災市町を訪問し、東日本大震災から11年7カ月が経過し、ハード面では復興が着実に進捗しつつあるが、新しい課題に直面していることを痛切に感じた。被災者の皆様に寄り添い、被災地の発展のために、全力で取り組んでまいります」と述べました。

多賀城市では、「多賀城市東日本大震災モニュメント」を訪れ、犠牲者に黙とうを捧げた後、深谷晃祐市長から復興の状況について説明を受けました。

七ヶ浜町では、高台移転した笹山地区の広場にて犠牲者に黙とうを捧げた後、寺澤薫町長から、復興の状況について説明を受けました。

塩竈市では、「塩竈市東日本大震災モニュメント」にて犠牲者に黙とうを捧げた後、佐藤光樹市長から復興の状況について説明を受けました。

12月19日 宮城県(利府町・仙台市・松島町) 訪問・視察



利府町 役場にて



仙台市 市役所にて



みやぎ心のケアセンター基幹センターにて



松島町 東日本大震災慰霊記念碑にて

令和4年12月19日、秋葉賢也前復興大臣は宮城県沿岸3市町を訪問・視察しました。

利府町では、利府町役場において、熊谷大利府町長と復興の状況について意見交換を行いました。

仙台市では仙台市役所において郡和子仙台市長と復興の状況について意見交換を行った後、みやぎ心のケアセンター基幹センターを視察し、宮城県における被災者支援、心のケアへの取組の状況について説明を受けるとともに、今後の課題等について意見交換を行いました。

松島町では、「松島町東日本大震災慰霊記念碑」にて犠牲者に献花・黙とうを捧げました。その後、櫻井公一松島町長から復興状況について説明を受けるとともに、復興産業集積区域に係る税制優遇措置の延長に関する要望書の手交を受けました。

終了後の会見において、秋葉前復興大臣は「引き続き、現地現場主義を徹底し、被災市町村の皆様と密に連携をしながら、残された課題の解決に取り組んでまいります」と述べました。



仙台市 JRフルーツパークあらはまにて



石巻市 大川地区オリーブ栽培地にて



石巻市 河北地域長面地区にて



石巻市 震災遺構大川小学校にて



仙台市 JAビル宮城にて



石巻市 JA全農北日本くみあい飼料㈱石巻工場にて



山元町
牧草栽培地にて

令和4年10月26日、小島敏文復興副大臣は、防災集団移転元地の利活用に関して、仙台市（荒浜地区の「JRフルーツパークあらはま」と石巻市（大川地区のオリーブ栽培地、河北地域の長面海岸地区）を視察するとともに、石巻市では、「石巻市震災遺構大川小学校」を訪問し、犠牲者へ黙とうを捧げ、被災の状況や伝承に向けた取組について説明を受けました。

また、同年11月30日には、津波の被災農地で今年度から実施されている飼料作物の試験栽培の現場等を訪れ、関係者から現状と課題について説明を受けました。JA宮城中央会の佐々木会長とJA全農みやぎの大友本部長を訪問し、試験栽培に関する概要や今後の展望等について聞いた後、山元町の農業生産法人株式会社やまもとファームみらい野において、牧草の大規模実証栽培の現場を視察し、現場で試験栽培を担う方々と意見交換を行いました。また、石巻市ではJA全農北日本くみあい飼料株式会社石巻工場において、被災農地で試験栽培された飼料作物から飼料を製造している工程や輸入飼料を巡る現状等について説明を受けた後、意見交換を行いました。

12月22日・1月20日 宮城県訪問

令和4年12月22日、小島敏文復興副大臣は、復興まちづくりや被災者支援・移転元地の利活用等に関連して、石巻市と女川町を視察しました。

石巻市では雄勝地区を訪問し、コミュニティガーデン造りを通じた被災者支援や震災伝承活動を行う「雄勝ローズファクトリーガーデン」や、廃校となった旧・桑浜小学校を活用して農林漁業体験等を盛り込んだ体験プログラムを実施するほか、中学生の漁村留学の受入れを行って「モリウミアス」、観光・商業の新たなに賑わいづくり拠点となっている「道の駅硯上の里おがつ」及び「雄勝硯伝統産業会館」を視察しました。

女川町では、女川町役場を訪問し須田善明町長から女川町の復興まちづくりに関する説明を受けた後 JR女川駅舎から海を臨むブルムナード沿いに商業施設が立ち並ぶ女川駅前地区や女川湾への水質悪化を防止するため環境への負荷を極力低減する工夫がとられている女川町魚市場、地域住民のつながりを大切にした復興住宅を目指して陸上競技場のあった高台に整備された災害公営住宅、コワーキングスペース・創業支援・女川町民集いの場と3つの役割を持つ交流施設「女川フューチャーセンター」を視察し、復興に向けたこれまでの取組や今後の取組、課題点等について関係者と意見交換を行いました。

令和5年1月20日には、仙台市藤塚地区の「アクアイグニス仙台」を訪れ、移転元地の利活用やにぎわい創出に向けた取組を視察しました。



石巻市 雄勝ローズファクトリーガーデンにて



石巻市 モリウミアスにて



石巻市 雄勝硯伝統産業会館にて



女川町 役場にて



女川町 女川駅前シンボル空間にて



女川町 女川フューチャーセンター Camassにて



仙台市 アクアイグニス仙台にて



中野復興大臣政務官の動き

1月16日 宮城県訪問



石巻市 石巻南浜津波復興祈念公園にて



石巻市 震災遺構門脇小学校にて



女川町 蒲鉾本舗 高政 万石の里にて



東松島市 防災体験型宿泊施設「KIBOTCHA」にて

中野英幸復興大臣政務官は、宮城県の沿岸3市町を視察しました。

石巻市では石巻南浜津波復興祈念公園では犠牲者に献花・黙とうを捧げた後、津波と火災にさらされた「石巻市震災遺構門脇小学校」を視察し、命を守るための避難行動や訓練の重要性等の震災から得た教訓を伝えようとする取組について説明を受けました。

女川町では「蒲鉾本舗 高政 万石の里」を訪れ、産業・生業の再生に関して、現状や課題の説明を受け、意見交換を行いました。

東松島市では津波被害で廃校となった学校を活用して防災教育などを行う防災体験宿泊施設「KIBOTCHA（キボッチャ）」を視察し、震災伝承や産業・生業の再生、地域活性化などに関する取組について説明を受けました。

【編集後記】

◇復興大臣の交代に伴い、新しく就任した渡辺博道復興大臣の2度の宮城県内沿岸被災地訪問・視察記事、秋葉賢也前復興大臣の10度目で被災市町一巡となる訪問・視察記事を掲載したほか、小島敏夫復興副大臣の防災集団移転元地の利活用の状況等視察、中野英幸復興大臣政務官の視察に関する記事を掲載いたしました。現地を視察するたびに、残された課題の解決に取り組む気持ちを新たにすところとす。

◇大臣は交代しましたが、私たちはこれまで同様、現場主義を徹底し、被災地に寄り添い、課題の解決に向けて、自治体や関係行政機関等と連携し全力で取り組んでまいります。（支所次長 齊藤）